

平成26年度施策評価調書

整理番号	2
評価担当課	総務部(情報システム担当)

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	情報通信基盤の活用		
総合計画の位置づけ	基本目標	1	市民と行政との共同によるまちづくり
	主要施策	4	情報化の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	旧名寄市と旧風連町が構築した光ファイバー通信網を的確に維持管理するとともに、通信基盤を活かした行政事務の効率化ときめ細かな情報提供サービスを進める。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	名寄市イントラネット通信システムは万一事故や雪害等でケーブルの断絶があっても通信が可能となるよう多重化しているので途絶することはない。また高速通信を活用した基幹業務システムのクラウド化が実現した。民間通信事業者の高速通信網の整備により各地域で家庭でも高速通信が可能となったことで情報提供にも幅が広がりライブ映像や動画配信も取り入れている。
施策の課題	45Kmにも及ぶ光ファイバー網を維持して行くための経費軽減が大きな課題である。智恵文地区及び中名寄地区の学校では超高速インターネット環境となっていないので同じ環境となるよう整備が急がれる。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H23	H24	H25	目標年度(年度)
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	一部の学校で高速通信環境となっていない。これはイントラネット構築当初からの課題となっていたが完全解決に至っていない。しかし、高速通信基盤を活用した基幹業務システムのクラウド化は先進的な取り組みとして高く評価されている。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

